

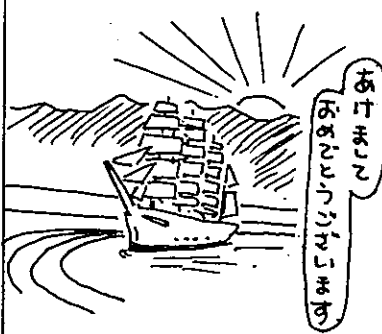
舵輪



新年
おめでとう

新しい年となり、海王丸とボランティアの皆様のご機関誌「舵輪vol.11 新年号」を発行いたします。

ことしも海王丸をよろしくお願
いいたします。



餅つき大会

開かれる
昨年一二月一九日(日)に、恒
例のボランティア主催、財団後援
の餅つき大会が開かれました。

好天のもと朝九時から、約五〇
名のボランティアの皆様が参加し
て、船に供える鏡餅をつきあげ、
その後、一般見学客にあずき餅や
豚汁がふるまわれました。

餅つきに使用したもち米は六〇
kg、一臼ずつ、ボランティアの
皆様によってつきあげられていき
ました。

この餅つき大会も今年で四回
目。すっきり、ボランティア主催の年
中行事として定着し、また、年末
のテレビのローカルニュースでも
お馴染みとなっています。

鏡開きのご案内

餅つき大会に引き続き、鏡開き
を海王丸前で左記のとおり行いま
す。ボランティアの方で、お手す
きの方はぜひご参加ください。
家で余っている餅を持参してい
ただいても結構です。

「鏡開き」
準備日時
一月一五日(土)
午後二時
場所 海王丸甲板上

実施日時
一月一六日(日)
午前九時 準備開始
午前一〇時 鏡開き開始

RCヨットレース

実施日時

一月一六日(日曜日)
一時頃より

参加予定艇
タミヤ ヤマハW六〇 四艇
ACカップレーサーS40 一艇

このたび多くの方の協力を得て、
第一回RCヨットレースを開くこ
とになりました。



チヨツサーからのお知らせ

ボランティアの皆様、明けまし
ておめでとうございます。
今年も明るく楽しい海王丸を目
指して、職員一同頑張りますので、
どうぞよろしくお願い申し上げま
す。

さて今年第一回目のお知らせは、
船内探検についてです。

セイル作製につきましてはずで
に昨年末にお知らせ済みですが、
その作業日に海王丸船内で普段な
かなか入る機会のない場所をご案
内すること、以下のとおり企画
しています。

実施予定日

一月二三、二九、三〇日

合計三日間

時間

十二時頃から、約四五分間

風だけで動くということでは
え、帆船海王丸。といっしよで
(理屈は全くと言っていいほど違
うが風で走るところは同じだよ。)
興味のある方もおられると思いま
す。

ルールはアメリカズ・カップや
ニッポン・カップのようなマツチ
レースにしたいと思えます。予選
は総当たり戦で上位二艇で決勝戦
をして優勝艇を決めます。

どうぞ皆さん餅を食べながら観
覧、各艇を応援してください。

参加艇も募っています。飛び入
り歓迎(?!?)。

大会委員長

(たんなる言いだしっぺ)

ミズンマストのメガホン

NO.二四二 松井でした。

注意

汚れてもよい服装のうえ、ボラ
ンティア用のアポロキヤップをご
用意下さい。(他の一般客と区別
するため。)



「技術講座」のご案内

のご案内

前号及び号外でもお知らせしま
したが、この冬の「技術講座」と
して、フライングジブとメインア
ッパージェルンスルを作製します。
昨年末に裁断した帆布を一針一針
縫いあげていく作業ですが、帆船
の帆を縫ってみようと思われる方、
そうでない方も冬のひととき、海
王丸で「かたふり」をさされてはい
かがでしょうか。

初めての方、しばらく海王丸から
離れている方もぜひご参加くださ
い。

作製予定時期は左記の通りです。

セイル作製開始日

一月二二日(土)

一月二三日(日)

午後一〇時〜午後四時頃まで

参加時間は自由

以後、セイル完成までの

毎週 土、日曜日

作業服及び用具は本船で用意し
ますが、昼食については必要な場
合は各自でご用意ください。



今回は「Watch」についてです。これは、もちろん（懐中）時計とか、見守るとかいう意味のなじみ深い語ですが、海の世界では一般的には当直を意味し、特に甲板部の場合にはその当直業務の内容から、Watchは見張りを前提とした当直を意味します。

しかし、本来は「不眠」を意味するようで、時計をWatchというのもそれが二四時間休みなく動き続けるからだそうです。従って、昔の海上の諸法規では

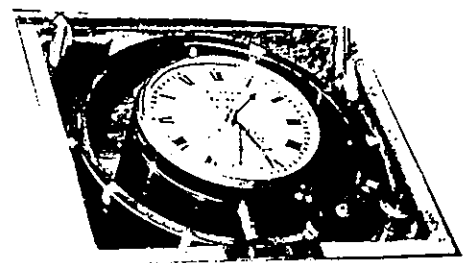
「Watch and ward」（不眠と見張り）と、必ず併記して区別されていましたが、時の経過とともに両者の区別はなくなり、現在のようにWatchは不眠を含む見張りの意味に用いられるようになりました。

日本でも、「不寝番」「寝不（ねず）の見張り」といった、極めて類似の言いまわしがあるのも興味深いものです。（だからと言って不眠症をワッチ・シンドロームというのは無理があります。）

ところで、二四時間体制をとっている陸上の工場等で、深夜0時から午前八時までの勤務を

graveyard shift（墓場交代、ありがたくない交代）と言うようですが、これは海上勤務での0時から午前四時までの夜半当直が、眠くて目が重たく感じられるところから

grave-eye watch と呼ばれ、これがいつのまにか、graveyard watch（墓場の当直）と呼ばれたことに起因しているそうです。



ちなみに、海上での各航海当直の呼び方を列記してみると、次のようになります。

- 00-04 midnight watch 夜半直
 - 04-08 morning watch 朝直
 - 08-12 forenoon watch 午前直
 - 12-16 afternoon watch 午後直
 - 16-20 evening watch 薄暮直
 - 20-24 firstnight watch 初夜直
- これが、日本船では一般的には「ゼロヨン（00-04）直」あるいは「ヨンパー（04-08）直」とか呼ばれ、さらに夜半直をドロボー・ワッチとか、午前直を殿様ワッチ（一番楽な当直ということからか？）とか言う人もいます。

以上で終わりますが、腕時計を見ながらのカタフリのネタになりますでしょうか？。それにしても、飲み屋での四時間に比べて、ワッチの四時間の何と長いことか。まだまだ煩惱多い私です。

（藤井）

波の彼方で

練習船での航海中の様子を紹介しているこのコーナーですが、今回は、ボート操練（正式には、総端艇部署操練）を取り上げます。皆さんご承知の通り、船は出港すると火災などの非常時に全く陸からの支援を受けることができません。つまり、すべての面において船内での処置が要求されています。そこで、いざという時に対処出来る様、さまざまな操練が行われます。このことは、法規（船員法）にも規定されており、もちろん練習船でも重要な実習訓練の一つにあげられます。

「操練、総員上へ。総端艇降ろし方用意！」突然、スピーカーから非常放送が流れ、続いて非常ベルが鳴り響きます。乗組員及び実習生は、大急ぎでマツ、ヤマ、メシを身につけ、部署表により決められている各自の救命艇の前に集合します。そこで艇指揮（航海士）の指揮のもと、艇降下の作業に入るのです。汽船の場合、機関を停止することにより、容易に停船することが出来ますが、帆走中は、そうはいきません。まず、コース（マツ、ヤマ、メシ）をしほりブレイスを引いてヤードを回し、セイルに裏風を入れ逆帆とします。これをヒーブツツと言ひ、洋上で行き足（前進力）を落とす、船を停止状態にする際に行う非常時の操帆作業です。つまり、救命ボートを降ろす作業と並行してこの操帆作業を行うため、甲板上は、様々な号令が飛び交います。実習生は二つのグループに分かれてこの作業を行い、一方では激しい動揺のなかで、重量約三トンの救命艇

を扱い、また一方では、いつもの半分の数で、四本のマストを操作するので、

「いよいよ本船は、洋上に停止しました。船長から「各艇降ろせ！」の号令が届くと、ボートをつないでいたロープが伸ばされ、ボートは海面に着水します。船上からは静に見える海面も、うねりのためボートは大きく上下動を繰り返します。艇員は、（繩梯子）を伝って本船から素早くボートに飛び移り、全員揃ったところでオールを用意し、「カイ用意。」

「前へ！」の号令で一斉に漕ぎ出し、本船から離れます。この救命艇は、マストを立て、帆を使つての帆走も出来るようになっており、本船から充分離れたところで帆走を開始します。その頃には、本船も元の帆走状態に戻り、ボートに続きます。ここではじめて本船を振り返ることが出来るのです。

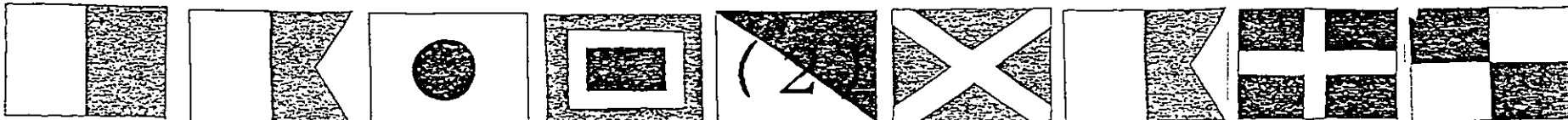
「オー」と周囲から感嘆の声。山の様なうねりの間から見える自分達の船の姿。帆船に乗っている者はめつたに、外から自分の船の帆走している姿を見ることはありません。「きれいだなア」そんな言葉が思わずお互いの口からでてきます。連日の実習訓練の疲れも吹き飛んでしまう美しさです。彼らは、一生この洋上に優雅に浮かぶ貴婦人の姿を忘れることは無いでしょう。

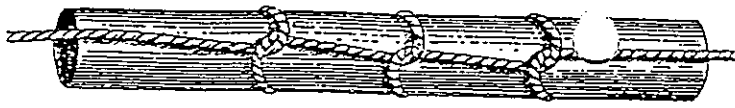
（川路）

注）操練 陸上でいう非常訓練

操端艇訓練は、船が危機に陥り、乗組員が船から脱出することを想定して行う訓練。練習船の実習訓練の中でも、学生が最も緊張する訓練の一つ。

端艇 ライフボートのこと。





(財) 帆船海王丸記念財団は、ご承知のとおり、富山県と大阪市が出資してできた海や船を指向する財団です。従って、スタッフも海王丸の払い下げ元である運輸省からの派遣チームである業務課、富山県、新湊市からの派遣チームである総務課 計一六名のメンバーで構成されています。

「舵輪」では、業務課員のプロフィールを紹介しましたが、今回、ボランティアの皆様には比較的馴染みの薄くなりがちですが、財団のイメージ向上、広報活動、予算獲得、運営等で、知恵を絞っている総務課のメンバーを紹介します。

山本 利夫 富山市在住 四七歳

総務部長 (年男)

富山県庁から平成四年一月一日付けで財団出向。

前職 林政課、水産漁港課 等

現在は、職員の人事、イベントの企画等を担当

家庭と愛犬「リユウ」をこよなく愛す。休日には、水泳、テニス、読書で過ごすことが多い。

柳原 輝夫 高岡市出身

総務課長

富山県庁から平成五年四月一日付けで財団へ出向

前所属 博覧会推進局、富山県立大、統計課、etc.

月曜日が定休日という変則勤務体制がお気に入りの

へそまがり派

ホルンを持たせれば、惚れ惚れする?! 名(迷)手に変身。

(また、法螺(ほら)吹いちやった。!)

不得意科目 妙齢?! の女性

釣 睦雄 新湊市出身

総務課係長

新湊市役所から平成五年四月一日付けで財団へ出向

前所属 福祉課、総務課、市民課

一見マジメそうですが、O型人間の面も合わせもつ変わった人です。(編者が言っているわけではありません。)

米谷 ひとみ 新湊市 出身

バイトのお嬢さん

気が向いたとき、時々、海王丸財団でバイトをしている。前職 秘密(夜のしよ)うばいではありません。

ボランティアの人の顔はもう半分以上覚えていますが、名前と全然一致していません。

とてもおしゃべりで機関銃のようにしゃべる、うるさい奴です。

彼氏募集中の適齢期まっただなかのお嬢さん。

カレンダ―を配布

しています。

当財団のカレンダ―をボランティアの皆様配布しています。昨年末の「ボランティアの集い」や、セイル裁断時におみえになられたボランティアの方にはお渡ししましたが、まだ受け取っておいでない方は、財団事務所または船にお越しになられた際、お申しつけください。

「舵輪」イラスト 募集

募集

舵輪の原稿、イラストを募集しています。書式、字数ともに自由です。ボランティアの皆様が持っているおもしろい話、最近感じている事、イラストなどを送ってください。

「舵輪」、当財団へのご意見、提案、ご批判であれば、尚結構です。

受付は随時、締切は特にありません。書いてみようと思われ方は、当財団 業務課 まで。

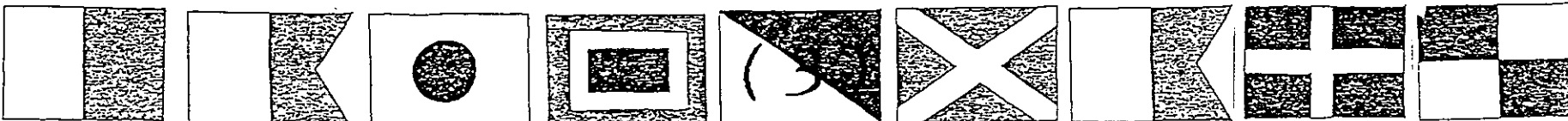
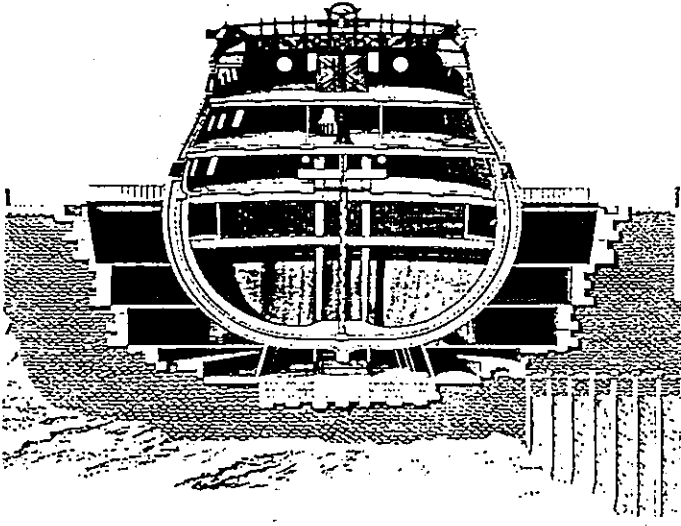
あとがき

年が明けて、1994年。当財団の業務課員は、北は北海道、南は沖縄と、全国各地から集まってきました。今年の正月はそれぞれの出身地で過ごした者、富山で正月を過ごした者それぞれでしたが、ボランティアの皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。

戦後最悪の不況が続く中で、当財団の予算もかなり厳しく査定されそうですが、無い時には無いなりに、大げさな事をやるよりは、地道な活動により、当財団の目的の一つである海事思想の普及を行っていかうと、財団職員一同考えております。

堅い話ですが、要はいかに多くの人たちに海王丸に接して楽しんでいただくか、工夫していきたいと思ひます。もちろん、ボランティアの皆様のご協力が無ければ、海王丸もただの展示物。海王丸ボランティアの皆様のみならず、富山県民から愛される海王丸であり続けるよう努力したい、と考えます。

(望遠鏡)



Handling Sails

A-box. Said of a square-rigged ship when the yards are braced in opposite directions.

A-cockbill, or cockbill. Said of a yard when it is topped by one luff (04.09) so that it is at an angle to the mast.

Belly. The bulging part of a sail which is holding the wind.

Bend sail. To attach a sail to its yard, stay, gaff or boom (04.07).

Box off. To cause a vessel's head to yaw off (12.08) or move away from the wind by hauling aft on the sheets (04.09) of the jibs (sails extending from the foremast to the bowsprit) and bracing back the yards of the sails on the foremast. This procedure is carried out in an emergency, as when the wind shifts ahead suddenly.

Brace (vb). To adjust a yard horizontally, by using the braces.

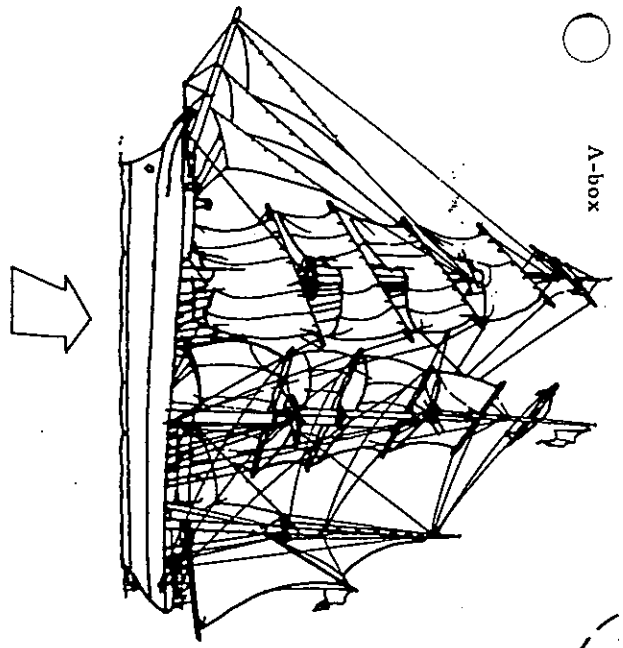
Brace in. To adjust a yard by means of the braces so that it is brought more **AWHARTSHIPS** (02.01).

Brace up. To adjust a yard so that it lies closer to the fore and aft line of the ship.

Carry on. To increase sail when the wind is still strong, despite the risk.

Chaffer. Said of a jib (04.12) when it survives (12.10) in the wind.

A-box



Counter-brace. To rake **fore-yards** and main yards in opposite directions, thus taking the way off the vessel.

Crack on. To set all sail and proceed at top speed.

Draw (vb). Of a sail, to be full of wind.

Fill (vb). To trim a vessel's sails to catch the wind.

Flake a mainsail. To take in a gaff mainsail and secure it in bights on either side of the boom (04.07).

Flowing sheet. Said of the sheet (04.09) of a sail that is eased off when the sail is

full and the vessel is **RUNNING FREE** (12.03).

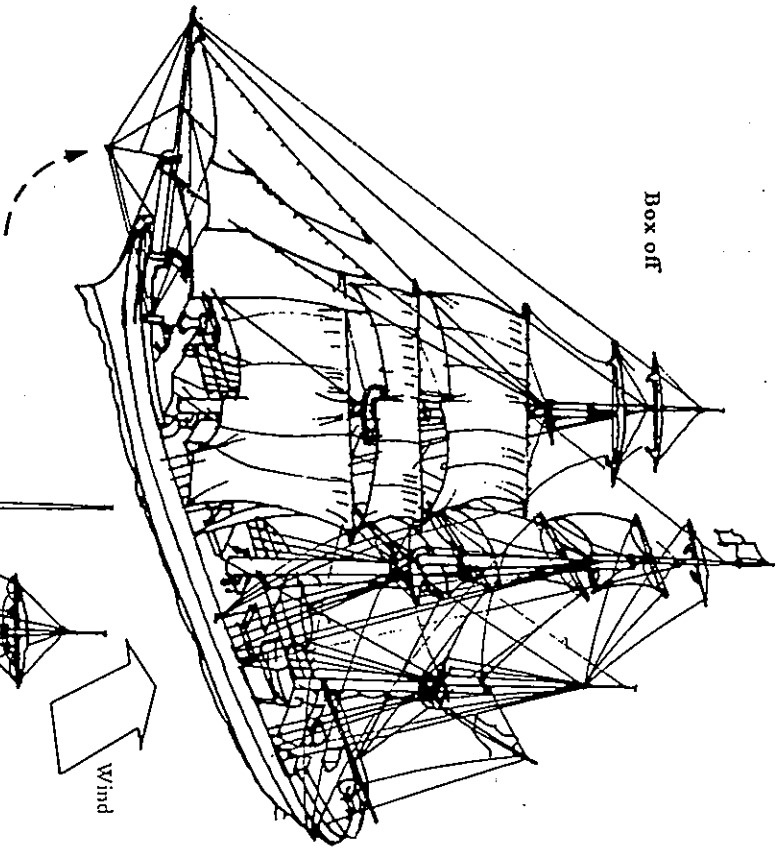
Gybe (vb). To shift a boom-sail (extending fore and aft) from one side of the mast to the other while sailing with the wind abaft the beam.

Make sail. To prepare and set the sails ready for sailing. Also, to increase the amount of sail already set.

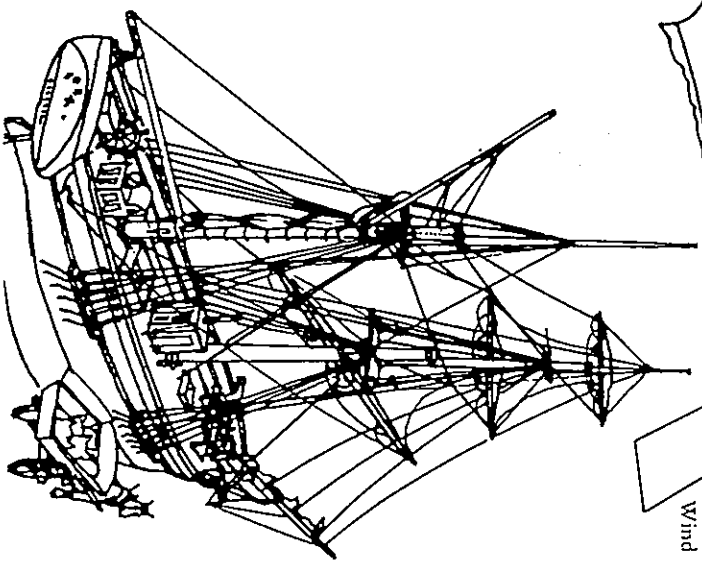
Out. Situation of the sails when they are set, or extended, in order to propel the ship.

Press of canvas. All sails set and drawing well.

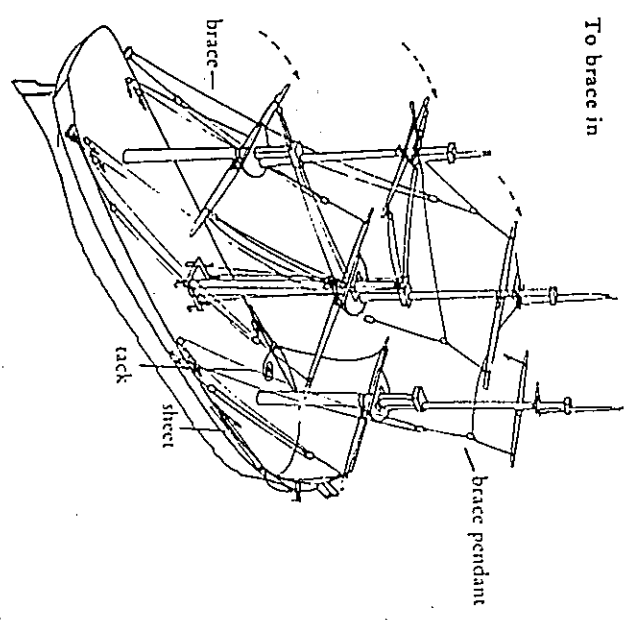
Box off



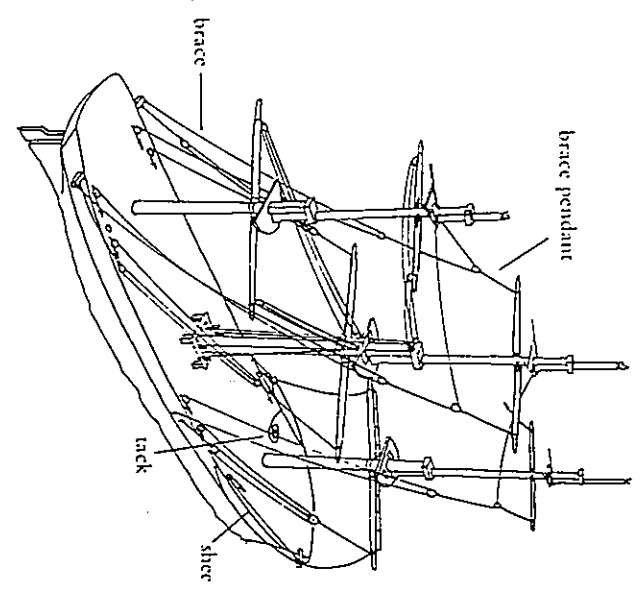
Wind



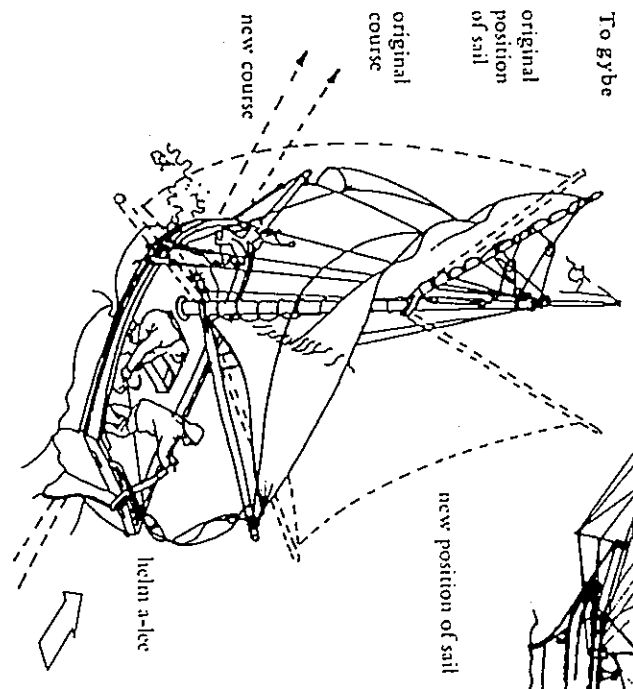
To brace in



To brace up



To gybe



Counter-b

